



誰もが未来を変える力をもっている

校長 佐藤靖子

「最近、学校が変わってうれしい」という声を生徒の皆さんから聞きました。地球温暖化に拍車がかかり、これからの時代は猛暑対策が必須です。生徒会が約一年以上に渡り当校の「生活のきまり」を見直し、様々な意見を出し合った成果が目に見える形でも表れ、学校生活を変えていっています。昨年度からは半袖体育着の裾を出してもOKとなりました。裾を出すことで、衣服内気候が約-5℃になるからです。予測困難なことが起きるVUCA(「Volatility:変動性」「Uncertainty:不確実性」「Complexity:複雑性」

「Ambiguity:曖昧性」)の時代に突入をしていますが、生徒たちは果敢にもっとこうしたい、こうなったらいいなあと、夢や希望を語ってくれます。今年度から教育目標が目指す生徒の姿の中に、「最適解・納得解」(課題を発見し、よりよい方向性を見いだすことができる)も設定しています。人はそれぞれの経験値と価値観で自分の考えが正しいと思いがちですが、様々な人々との対話の中で、互いの立場、考えを熟考することが大切だと考えます。対話をした結果、自分にとってBestとはならないまでも、Betterな落としどころ、着地点、折り合いをつける所をどこにするか?生徒も授業や特別活動等で○か×では決められない時、どのように他者と折り合いをつけるのか、その方法を日々体験しています。

今年の1月から本格的に、令和6年度新入生の新しい制服の在り方について、CS委員、小中PTA役員、生徒有志

(約40名)による制服プロジェクト、職員での意見交換、アンケート、制服選定会議等で数多くの話し合いを行わせて頂きました。保護者の方々をはじめ、多くの方々からのご意見を頂戴し、皆様のご協力のもと、お陰様をもちまして決定案が確定しつつあります。ご意見の中には「制服を変える必要があるのか?なぜ、学生服がだめなのか?価格が上がることは大反対、中学生らしくない華美なものは不要、もっと小学生の意見を入れて欲しい」等、保護者の皆様におかれましては、制服変更に対し、不安にさせ、説明不足があったことはお詫び申し上げます。しかしながら、現在の制服では、様々な諸問題が生じていることも分かり、この度『誰もが幸せになれる制服~well-beingな制服~』をテーマに模索し続けました。まず、男女制服の価格差についてです。男子学生服は、標準服であればどの店舗でも購入でき価格帯も様々です。女子制服は内野中オリジナルですので、価格帯は学生服よりも高めである点を男女共用デザインにすることで公平に



6月7日ファッションショーの一幕

しました。また、新しい制服の価格については、上着の布地が3種類の生地から選べますので、価格帯も3パターンあり、現在の制服よりも品質が向上し、価格は安価になる場合もあります。そして、現在の制服は今後も着用可能です。これからは誰もが他人事ではなくSDGsを念頭に行動を起こし、地球人として地球温暖化を阻止する責任の時代です。資源を大切にし、おさがりやリサイクルの推奨をしていきます。ネクタイに統一をというご意見も頂戴しましたが、リボンに憧れる生徒も大勢います。また、6年生女子児童が

中学校入学時にスカート制服であることが嫌で、辛そうにしていたというお話はかなり前からあったとも伺っています。ですので、それぞれがデザインも布地素材も価格帯も選択できる制服とさせていただきます。皆様のご意見、お考えに対してBestではないかもしれませんが、Betterな選択をした結果が今後発表させていただきます新しい制服です。

私事ですが、学生時代に高分子繊維学という講義を受講し、実際に私も科学的に繊維を作る実験をしていました。恩師はかつて理系学生であったために第二次世界大戦の学徒出陣を免れ、戦時中物資が不足していた日本において、植物繊維から布地を作るよう命じられ研究をしていたそうです。なぜ布地（実際は和紙）を作らされているのか分からなかったそうですが、日本軍は爆弾を搭載した風船を偏西風にのせて、アメリカ本土を攻撃するという途方もない作戦だったとのこと。実際にはアメリカ大陸西海岸のオレゴン州に着地し、木にひっかかった風船をピクニックに来ていた女性教師（妊娠中）と生徒5名が触ってしまい、6名の方々が亡くなっています。日本軍がアメリカ本土を攻撃した唯一の兵器です。恩師は自分たちが関与したものが、人の命を奪うことの恐ろしさに、時代の流れとはいえ何年経っても消えない過去だとおっしゃっていました。

間もなく、各地で花火大会も開催されます。長岡花火を鑑賞した山下清画伯が、長岡花火師嘉瀬誠次（101歳）さんの作る花火を見て、「みんなが爆弾なんかつくらないで、きれいな花火ばかりつくっていたら、きっと戦争なんて起きなかったんだな。」という言葉を残しています。恩師も「繊維（布地）は戦争になんか使ってはいけないんだ。これからは快適な暮らしのために繊維をさらに進化させたいのだ。」と、強くおっしゃっていたことを思い出します。『誰もが幸せになれる制服～well-beingな制服～』プロジェクトでのお陰で、最近の高性能な布地（自宅で洗ってもしわにならない、抗菌、においがつきにくい等）を知り、それらを用いた制服を提供できる運びとなりました。性能、デザイン、価格の見直し等様々な観点から制服の改革させていただきましたが、何よりも大きな収穫は、「誰もが未来を変えられることを生徒たちが堂々と自信をもって行動」してくれたことです。生徒が当事者として大人と一緒に議論して決めていくことは大切であり、今後も様々な場面で行っていきます。



今後導入される新制服

この度の当校の制服変更の流れを報道で知った長岡市在住の中学生保護者様からは、R5年6月16日付新潟日報朝刊「窓」の欄へ投稿があり、県内へも大きな反響があることを知りました。

ご協力いただきました多くの皆様方へ心から感謝申し上げます。よい夏をお過ごしください。

菅井 浩江先生が産休に入ります

2学年副任を担当している菅井浩江先生が、7月22日から産休に入ります。

菅井先生は1・2年生の数学や2学年生徒会を担当しており、さまざまな場面で生徒の力を伸ばそうと尽力されました。

お体を大事にし、元気な赤ちゃんを産んでいただきたいと思います。

いよいよ夏休み！！

明日から32日間の夏休みとなります。学習を頑張る夏休み、部活動に励む夏休み、新しいことに挑戦する夏休み、家族と過ごす時間を大切にする夏休みなど人それぞれの夏休みのがあると思います。ぜひ、有意義な夏休みを過ごしてもらいたいと思います。

また、夏休みは観光客が増えることにより事故が増えたり、水難事故の報告が増えたりします。各学年で指導された内容をもう一度確認し、自分の命を自分で守るよう心掛けてほしいと思います。

夏休みが終わる8月23日に、元気な姿で再会できることを楽しみにしています。



～令和5年度 新潟県中学校総合体育大会 結果～

<p>陸上競技部 <男子> 走高跳 第8位 <女子> 800m 予選総合12位 走幅跳 予選通過ならず</p>	<p>剣道部 ■男子団体 1回戦 内野 ○4-0 青海 2回戦 内野 ●0-3 燕 ベスト16 ■女子団体 1回戦 内野 ○4-0 猿橋 2回戦 内野 ●0-2 小出 ベスト16 ■男子個人 ベスト32 ■女子個人 ベスト32</p>	
<p>男子ソフトテニス部 ■団体戦 2回戦 内野 ○3-0 村松桜 3回戦 内野 ●0-2 見附 ベスト8 ■個人戦 ベスト16</p>	<p>バドミントン部 ■団体戦 1回戦 内野 ●1-2 笹神 惜敗 ■個人戦(ダブルス) ベスト16</p>	
<p>女子ソフトテニス部 ■団体戦 2回戦 内野 ○2-1 猿橋 準々決勝 内野 ○2-1 城北 準決勝 内野 ○2-1 胎内中条 決勝 内野 ○2-0 小千谷 優勝 北信越大会出場 ■個人戦 優勝 北信越大会出場 第3位 北信越大会出場</p>	<p>男子バレーボール部 1回戦 内野 ●0-2 城東 惜敗</p>	
<p>サッカー部 1回戦 内野 ○9-0 江陽 2回戦 内野 ○6-0 村上合同 準決勝 内野 ○6-0 関屋 決勝 内野 ○2-0 山の下 優勝 北信越大会出場</p>	<p>水泳競技 <男子> 100m平泳ぎ 第8位 200m平泳ぎ 予選通過ならず</p>	
<p>水泳競技 <女子> 50m自由形 第7位 100m自由形 予選通過ならず 100mバタフライ 第6位 200m背泳ぎ 予選通過ならず 400mメドレーリレー 予選通過ならず 400mリレー 第8位</p>	<p>器械体操 個人総合 第4位 北信越大会出場 平均台4位、跳馬7位、床4位 段差平行棒8位</p>	<p>新体操 個人総合 第6位 フープ6位、リボン6位</p>
<p>陸上競技部 (7/2・3 通信陸上大会) <男子> 走高跳 第10位 <女子> 800m 予選総合14位 4×100mリレー 予選総合9位</p>	<p>吹奏楽部 (7/16 下越吹奏楽コンクール) 内野中学校 金賞 県大会出場</p>	

サッカー部、女子テニス団体・個人それぞれの優勝旗と優勝カップが内野中へ戻ってきております。



【サッカー部】11年ぶりの県優勝(平成19、23年度優勝)

【女子テニス部】29年ぶりの県団体優勝(平成6年度優勝) 個人優勝

各種大会のーコマ



※写真の関係で、県大会に出場したすべての部活動の写真を掲載することはできませんでした。ご了承ください。